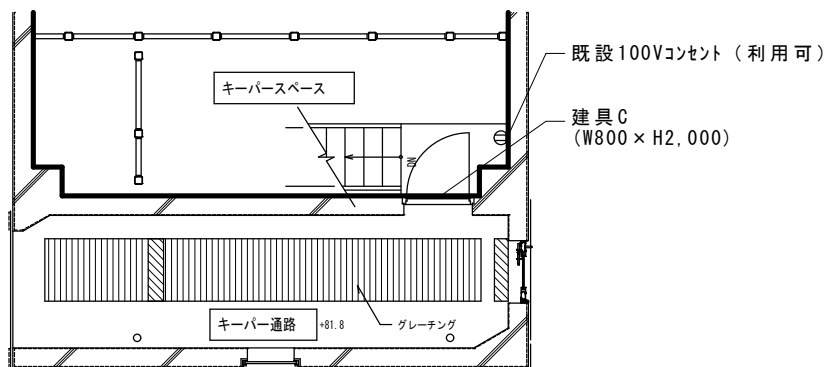


トップライト(1,300×1,300)×2か所を含む、大寝室天井、キーバースペース天井について、仕上リスト④により防音・遮光施工を行う。

一部の壁について、大寝室はFL+3,000以上の部分、キーバースペースについてはFL±0以上の部分について、仕上リスト④により防音・遮光施工を行う。なお、出隅部分も適切に納め、設備配管部分(42.3㎡)程度はLGS等で下地を組むこと。

建具A(外部管理通路と直結)(W800×H2,000)

建具B(W800×H2,000)



壁・天井：④既存CON+木下地(垂木45×45以上)+GW断熱材t50(24K)+マツt37

間仕切壁：④鉄骨下地+マツt37(両面)
鉄骨下地：溶融亜鉛メッキC100×50×20×t2.3@300

開口：W800×H900
(端部もマツで納めること)

【別途】ウッドチップt500

床：④既存CON+鉄骨下地+マツt37
鉄骨下地：溶融亜鉛メッキC100×50×20×t2.3@300

産室参考断面図 S=1/50

- 特記事項
- 1) 施工時間は準備、片付けを含め原則9:00~17:00とする。
 - 2) 作業員出入口及び資材搬出入口は建具A(有効開口W650×H2,000)とする。
 - 3) 産室内の間仕切壁の新設位置及び新設時期は委託者と協議の上決定すること。
 - 4) ○は既設カメラ保護カバーの位置を示す。産室内のカメラの録画に支障がないよう、映像を確認しながら施工すること。
 - 5) 建具A、建具B、建具Cについても防音・遮光施工を行うが、扉の開閉及び施錠を行うことができるよう施工すること。
 - 6) 産室内には照明がないため、委託者で用意の上施工すること。
 - 7) 修繕対象範囲である産室、大寝室、キーバースペース以外には決して立ち入らないこと。
 - 8) 産室の床は排水を考慮して施工すること。
 - 9) 産室の壁・天井の木下地の組み方については委託者承認の上施工すること。

仕上リスト	
符号	仕上
④	鉄骨下地 マツ材t37
④	木下地 GWt50+マツ材t37
④	LGS下地 ラワンベニヤt9+GWt50
④	GWt50直貼り

